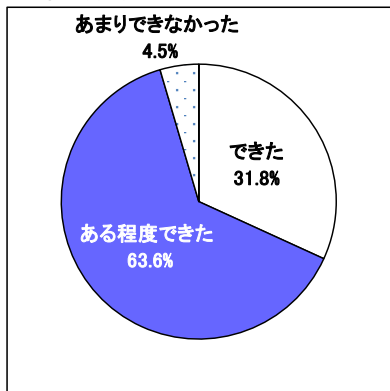


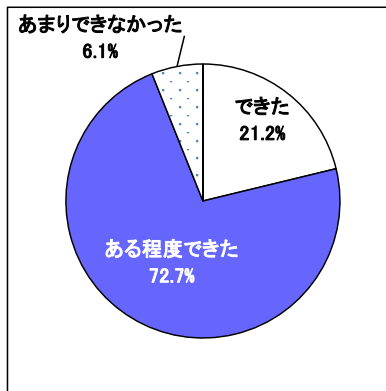
2 参加要員アンケート結果(令和4年度オフサイトセンター運営訓練)

【要員アンケート結果】アンケート回答者66人

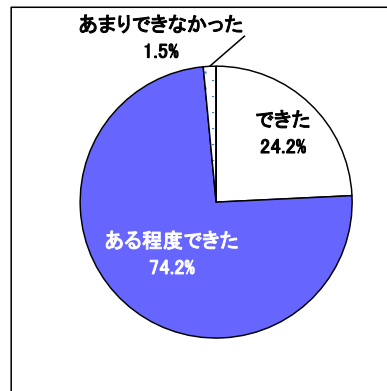
Q1 今回の訓練の想定や目的等を理解し、訓練参加できましたか。



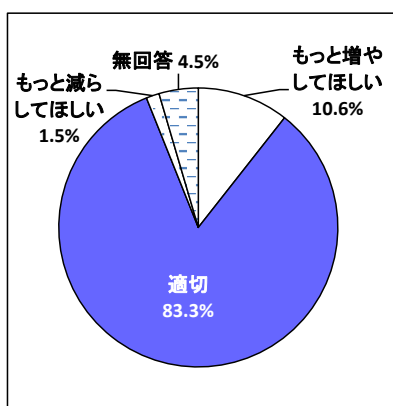
Q2 自らの役割を果たすことができましたか。



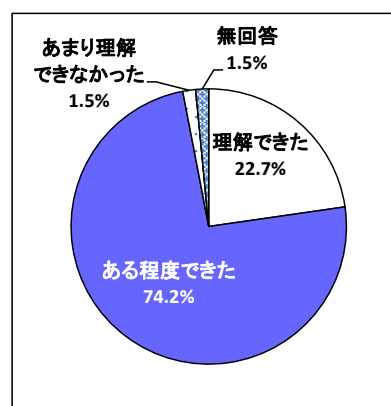
Q3 訓練参加機関との連携はできましたか。



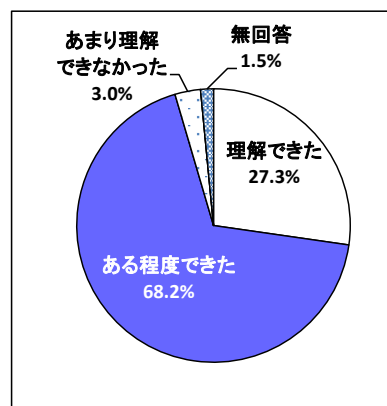
Q4 今回の訓練における役割、分担についてはどうでしたか。



Q5 原子力災害時における住民避難の対応等について理解が進みましたか。



Q6 原子力災害時における災害対策本部の対応等について理解が進みましたか。



<参加要員からの主な意見>

- ・要員の対応能力について、引き続き多様なアプローチで向上させていく必要がある。
- ・原子力防災システム(NISS)を初めて使う要員もいたので、事前に研修などを実施し、基礎的知識を高めておくこと更に良い経験になると思う。
- ・初めて参加したので原子力用語の意味や指示、自分の役割を理解できないことがあり、事前学習があると良いと思った。
- ・班内の情報共有に使用する主要活動ボードの活用や、紙資料の整理など、情報管理方法について、確認や共有漏れを防ぐための改善が必要。
- ・放射性物質放出後のUPZ住民の一時移転に備えた情報共有などの訓練は、初めて参加したので勉強になった。
- ・実災害に近い形でオフサイトセンターを運営する訓練となっており、大変有意義に感じた。

3 参加要員アンケート結果(令和4年度ドローン運用訓練)

<参加要員からの主な意見>

- ・ドローンを飛行させるまでの間に、カメラ日時の設定等に時間を要しているが、これらの手順の見直しが必要ではないか。
- ・IP無線機を使用して、運用拠点と連絡を取り合う際の発言ルールを設けた方が良い。
- ・雨天時にドローンを飛行させる際の手順をマニュアルに記載してほしい。
- ・実際にドローンを飛行させる訓練であったため、実践的な訓練を行うことができ、良い経験を積めた。
- ・リアルタイム映像を見ながら訓練ができ、より実戦に即したものとなっていると感じた。
- ・拠点間の連携が良好であった。